

〈ケア〉を考える会 (第118回)

■日時：2018年**6月3日** (日) 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2
山科駅より東 徒歩3~4分の民家
(山添 宅) (安朱保育園 東隣)

■当日の大まかな予定

13:00 ⇒ 有志集合…会場準備等
13:30~ ⇒ 学びの会/対話
15:30頃~ ⇒ 懇親会(笑いヨガ/音楽演奏も)
17:00~17:30 ⇒ 片付け、終了
(その後で、名残惜しコーヒータイム?)

■内容

(1) 読書対話 ……読んでなくても気兼ねなく参加できます。読んできてほしいけど……。

『君の臍臓をたべたい』

(住野よる著) をもとに対話します。

(2) 懇親会……食べながら飲みながら語り合います(持ち込み歓迎)

★懇親会参加者は実費(1000円程度)ご負担願います。

★申し込み・問い合わせ⇒ 林まで: michi-care@outlook.jp 090-5366-1497

★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。先着20名程度



▼「死ぬまでにやりたいことはあるでしょう?」/「……………なくはない、かな」/「でも今、それをやってないじゃん。私も君も、もしかしたら明日死ぬかもしれないのにさ。」(p.13-14)

▼「【秘密を知ってるクラスメイト】くんに残り少ない私の人生の手助けをさせてあげてもいいよ」(p.15)

▼「普通に生きている皆はさ、生きるとか死ぬとかにあんまり興味ないでしょ……。死に直面してよかったことといえば、それだね。毎日、生きてるって思って生きるようになった」(p.63)

▼君が死んだ時、僕は思った。僕は君と出会うために生きてきたって。/でも、君が僕に必要なとされるために生きてきたとは、信じられなかった。/今は違う。/僕らはきっと、二人でいるために生きてきたって、信じてる。/僕らは、自分だけじゃ足りなかったんだ。/だからお互いを補うために生きてきた。/最近、そういう風に思う。(p.321)



おたがいの言葉を手がかりに考える時間をもつこと、確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う。「考え」でなく、「考え方」をお互い共有してゆく。
対話には結論はありません。プロセスをゆたかにできなくては。
(長田弘『なつかしい時間』P.191)

「ケア」を考える会 ホームページ
<http://care-kyoto.jimdo.com/>

「ケア」を考える会-岡山
<http://okayama-care.jimdo.com/>